



ヤマビルにご注意ください

3月から10月頃まで
出現します

ヤマビルは高温多湿を好み人や動物の気配を察知して吸血します。その際、ほとんど痛みを感じませんので吸血された後の出血を発見し、被害に遭ったことに気がつく場合がほとんどです。

○吸血被害の予防策

ヤマビルは塩分を嫌がります。靴や靴下に塩を含ませておいたり、携帯するなどしてください（塩にはヤマビルに取り付かれたときには殺ヒル剤として効果があります）。また、市販の虫除けスプレーなども忌避（予防）効果があります。

○被害に遭ったら

ヤマビルに吸血された後、しばらく出血が続くことがあります（個人差がありますが場合によっては数日）。吸血箇所を消毒してカットバンなどで止血してください。なお、症状が悪化してきた場合は念のため医療機関への受診をおすすめします。

愛川町商工観光課

作品番号：23400221

作品タイトル：ヤマビル注意の看板

作家：椎葉 琢磨

キャプション：丹沢ではヤマビルの生息域が年々広がり、社会的問題になっています。

コレクション：OPO

ソース：

撮影地：神奈川県愛甲郡

撮影年月日：2008/5/16

学術名：

クレジット表記：(c)T・アイリー / Artefactory

モデルリリース：なし

プロパティリリース：なし

ピクセル数：2805px × 2104px

印刷サイズ：20.4cm × 15.3cm

データサイズ：4.2MByte

ファイル形式：JPEG